

アベベ・ド・レペ神父にまつわるエトセトラ 銅像における調査

桜井 強

日本聾史学会・日本手話研究所

1. はじめに（研究の動機）

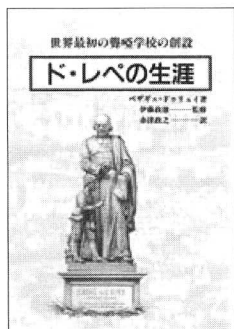
2003年7月に第5回国際聾史学会フランス大会でアベベ・ド・レペ神父のゆかりツアーに参加したが、最初は興味を持っていなかった。2003年10月に第6回日本聾史学会宮城大会で長野県の内田博幸氏が研究発表「全国ろう学校の歴史を調査して見よう」という題で発表された時点、大変感銘を受けた。

2. 研究方法（材料となるモノ）

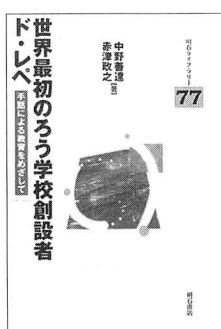


図表 1

著者の清水義範「銅像めぐり旅」を読んでみて大変面白くなり、銅像における研究調査したいと思った次第。



図表 2



図表 3

「世界最初の聾啞学校の創設ド・レペの生涯」と「世界最初のろう学校創設者ド・レペ」を読み比べた。

3. 現地調査（フィールドワーク）

- (1)2008年正月休暇におけるベルギー
- (2)2008年夏季休暇におけるパリ

4. 調査の結果

2008年1月、ベルギーのブリュッセル聾者の家

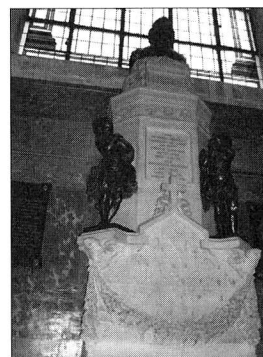


ド・レペ神父胸像



ド・レペ神父レリーフ

2008年9月、パリのサンロック教会



ド・レペ神父の祭壇



1841年制作

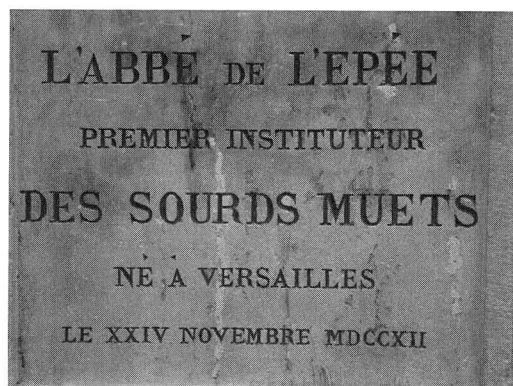
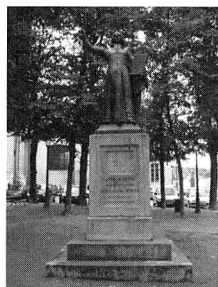
銅像制作者

アントワヌ・ラシュス(聴者) 1807-1857

彫刻家

オーギュスト・プレオー(聴者) 1809-1879

2008年9月、パリ郊外のベルサイユにあるサンルイ大聖堂



ド・レペ神父銅像 1843年制作

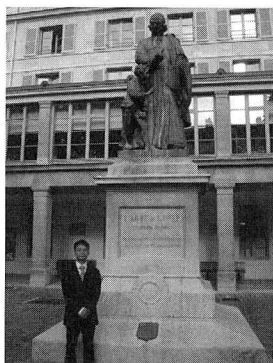
銅像制作者

アントワーン・ラシュス(聴者) 1807-1857

彫刻家

オーギュスト・プレオー(聴者) 1809-1879

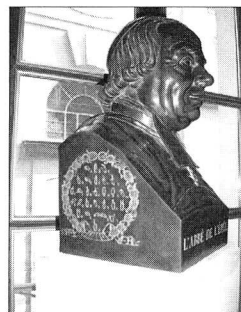
2008年9月、パリ国立聾学校



ド・レペ銅像(中庭) 1879年制作

フェリックス・マルタン(聾者) 1846-1916

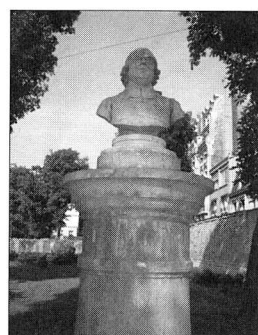
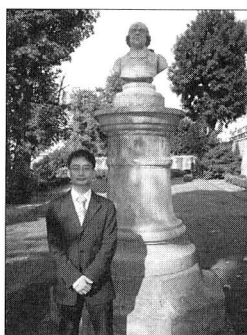
●1879年にド・レペ像の除幕式が行われた。



ド・レペ神父胸像(図書室) 1786年制作

クロード・ドゥゼーヌ(聾者) 1740-1823

●胸像は、ド・レペ神父生存中に制作された唯一の胸像といわれ、フランス革命後の1791年7月21日、すなわち国民議会がド・レペの学校の公立化を布告した翌日、ドゥゼーヌは、感謝の意を込めてその胸像を国民議会に献呈した。この胸像は現在のパリ国立聾学校に保管されている。

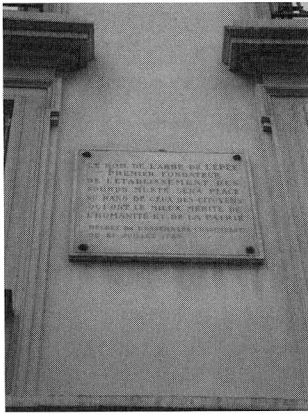


ド・レペ神父胸像(裏庭) 1786年制作

クロード・ドゥゼーヌ(聾者) 1740-1823

5. 銅像以外のド・レペ神父にまつわる記念物





ド・レペ神父のプレート(右側)

聾啞者のための最初の施設の創設者、ド・レペ神父の名は、人類および祖国の中で、最も功績のある市民の中に数えられることになるであろう。

1789年7月21日憲法制定議会の政令



ド・レペ神父のプレート(左側)

聾啞者の教師、ド・レペ神父は、1760年、現在は解体されてなくなったムーラン街の家に学校を開き、1789年12月23日、生徒たちに囲まれて、そこで亡くなった。



ド・レペ神父の記念切手 1959年発行

ポール・グレゴワール(聾者) 1755-1842

●1959年に発行された記念切手は、国際的に医療活動を推進している赤十字の創立100年を記念して発行されたもの。



ド・レペ神父の記念コイン 1801年発行

6. 今後の研究について(課題)

ド・レペ神父銅像は、世界で何体があるかを調査して行きたいと考えています。

【参考文献】

- 銅像めぐり旅 祥伝社
- ド・レペの生涯 近代出版
- 世界最初のろう学校創設者ド・レペ 明石書店